

令和6年能登半島地震及び豪雨災害に対する 災害ボランティアバス運行報告

令和6年能登半島地震の発生から11ヵ月、奥能登豪雨災害から3ヵ月が経過した令和6年12月12日(木)～13日(金)に石川県珠洲市の復旧を支援する目的で、下呂市社会福祉協議会にて災害ボランティアバスの運行をいたしました。

支援当日は、石川県珠洲市災害ボランティアセンターを通じて、下呂市在住のボランティア12名(女性1名)、下呂市社会福祉協議会職員5名(女性3名)の計17名で支援活動を行いました。

活動内容は、家屋裏の土砂撤去を行いました。足元が悪く、土質も粘土質で力のいる作業でしたが、土砂の袋詰めと土砂の破棄の2チームに分かれ活動を行いました。

被災地各所では、倒壊したままの家屋や道が崩れたままの箇所も多くみられました。災害発生から1年が経過してもなお手つかずの場所が残っており復旧することへの大変さを随所で見ました。下呂市社会福祉協議会として今後も継続した支援を行ってまいります。

改めて、今回災害ボランティアバスへご参加いただいた皆様ありがとうございました。

被災地の一日でも早い復興を心よりお祈り申し上げます。

～活動の様子～



※今回の災害ボランティアバスは皆様からご協力いただいております赤い羽根共同募金の「ボラサポ・令和6年能登半島地震」助成金をもとに運行させていただきました

